事例No.	2596
公表年度	R5
団体の属性	特別区
団体名	東京都江戸川区

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・移住定住 ・人材確保・育成

事例種類	地域資源の活用

事例内容・タイトル

東京都江戸川区

出典

平成27年度ふるさとづくり大賞事例集

東京都江戸川区

概　　要



旧図書館跡地を利用し、子ども達の探究活動の拠点基地として開設。アカデミー（学びの機会）とライブラリー（図書館）の二つの機能を合わせ持った新しいタイプの施設。展示型の科学館や博物館と異なり、区の自然、産業、人材など、あらゆる地域資源を活用して、室内に留まらず区内全域をフィールドとし、体験しながら継続的に学べる機会を提供。共育・協働の理念のもと、区民講師、ボランティア、専門家、専門機関と共に、学校ではできにくい幅広い分野のプログラムを開発し運営している。（右写真上：「地球46億年の旅（ミジンコの観察）」、右写真下：「江戸川の水質調査」）

評価された点



・過去に受賞歴もあり、認知度もあるが着実に利用者も増え、プログラム内容も充実しており、関係機関との連携も良い。
・一極集中が進む東京での子育ては、都心として難しい環境にある。加えて地元意識がない東京にあって、江戸川区ならではの地域学や地域資源を知ることで、東京のふるさとづくりとなる事業で評価に値する。
・多彩なプログラムが用意され、運営者の心意気が感じられる。全国への波及効果も期待できる。
・多様な人、組織が連携・協働して、ユニークなプログラムを展開している点。次世代育成プログラムとして、モデルになりそう。

新潟県十日町市

概　　要



全国に先駆け、「地域おこし協力隊」を導入。行政として命題を与える「テーマ型」での配置をあえて行わず、外部目線で地区を見つめ、地区住民に寄り添い、地区内でさまざまな活動を支援する「地域密着型」協力隊を配置することで、協力隊の活動が地区を刺激し、住民は多くの気付きを得る。その結果、協力隊と地区との信頼関係が築き上げられ、任期終了後の定住につながっている。

評価された点



・地域おこし協力隊を地域密着型として活動を支援する取り組みは、住民にとって新たな気付きにつながることになる。全国に先駆けたことや地域にあった手法が評価できる。
・地域おこし協力隊を受け入れている地域は多いが高い定着率を生み出す取り組みとなっており、全国の他地域でもモデルとなる活動である。
・目先の一時的な地域活性化に捕らわれず、長期的な地域コミュニティの育成を見据えて、効果的に地域おこし協力隊制度を活用したまちづくりを行っている。地域おこし協力隊による外の力と、地元住民の受け入れる機運がうまく相乗効果をもたらすようコーディネートされていることが、定住促進につながっている。
・外部の力をどう活かすか、そしてその視点を地域に内在化していくかという点で取り組みは評価に価する。